

整形外科疾患の下り搬送患者についての検証

研究機関 東海病院 整形外科
研究責任者 部長 金子真理子

東海病院（以下当院）整形外科では、骨折の診療で得られたデータや調査項目を用いた下記の研究を実施しております。この研究を実施することによる受診者への新たな負担は一切ありません。また、受診者のプライバシーの保護については法令等を遵守して研究を行います。

あなたの情報について、本研究への利用を望まれない場合には、担当医師にご連絡ください。

1. 研究の概要

総務省消防庁発出の「令和6年版 救急・救助の現況」によると、高齢者の救急搬送患者はこの10年間で1.4倍増と増加傾向にあります。また、救急搬送される高齢者のなかでも「軽症」、「中等症」を含む多くの患者が、高度急性期・急性期病院へ救急搬送されることで患者集中を招いているとされている。そのため、高度・専門的治療を必要とする患者の受け入れに影響を与えてしまい、救急医療における大きな課題として問題視されています。

このような高齢者の軽症・中等症の急性疾患に対する救急需要の増加に対応しつつ、医療機能分強化を促進するための手段として、初期診療後の救急患者の転院搬送（いわゆる「下り搬送」）が推進されています。しかし、下り搬送患者の実態についての報告はまだ少ないのが現状です。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2024年10月～2025年3月に「救急患者連携搬送料」算定を前提として当院整形外科に下り搬送された患者。カルテより後ろ向きに調査します。

2) 研究実施期間

本研究の実施許可日 ～ 2027年9月30日

3) 利用するカルテ情報

この研究は通常の治療や評価、検査を行い、その中で得られた診療情報を収集する研究です。あなたの診療情報をもとに、生年月日、性別、病歴、入院時間、受け入れ病棟、入院時診断、入院日数、転帰、再転院・転科の理由、対象期間の新規入院患者数、救急搬送による入院患者数などを収集します。

4) 個人情報の取扱い

ご参加頂いた方の個人情報がわからないようにした上で、解析を行います。調査により得られたデータを取り扱う際は、秘密保持に十分配慮します。また、研究成果は学会や学術雑誌で公開されますが、個人を特定できる情報は利用されません。

5) 問い合わせ・連絡先

この研究についてご質問等ございましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記にお申し出ください。情報の使用を断られても患者さんに不利益が生じることはありません。なお、研究参加拒否の申出が、既に解析を開始又は結果公表等の後となり、当該措置を講じることが困難な場合もございます。その際には、十分にご説明させていただきます。

東海病院 整形外科
研究担当医師 金子真理子
連絡先（電話番号） 052-711-6131（平日：9時～17時）
〒464-8512 名古屋市千種区千代田橋一丁目1番1号